

横須賀ごみ処理施設余剰電力(非FIT分)容量価値売却(単価契約)仕様書

1 件名

横須賀ごみ処理施設余剰電力(非FIT分)容量価値売却(単価契約)

2 概要

横須賀ごみ処理施設は焼却炉3炉を保有しているが、焼却炉2炉運転をベース運転としているため、焼却炉2炉運転時の余剰電力を基準にして、「発動指令電源」で2029年(令和11年)容量市場に参加する。

3 設備概要

- ① 施設名称:横須賀ごみ処理施設
- ② 施設住所:神奈川県横須賀市長坂5丁目1番1号
- ③ 焼却能力(120t/日×3炉)
- ④ 接続電力系統:東京電力パワーグリッド株式会社
- ⑤ 受電電圧:66,000V
- ⑥ 需給最大電力:5,030kW
- ⑦ 発電機種類:蒸気タービン発電機
- ⑧ 発電機出力:6,600kW
- ⑨ FIT認定設備
- ⑩ FIT認定満了年月日:2039年11月

4 見積り条件

- ① 2029年度終了後に最終報酬金額が決定して、ペナルティ等により最終報酬金額が減額になった場合でも、横須賀市への最終報酬金額が0円を下回ることなく、かつ横須賀市への請求が発生しないことを確約していただきます。
- ② 2029年度容量市場発動指令全終了後、最終報酬金額の根拠(発動指令日時、発動指令時の横須賀市の未達成電力量等)をご提示いただき、2030年(令和12年)4月6日(金)までに両者合意の上で最終報酬金額(横須賀市からの請求金額)を決定します。
- ③ バイオマス混焼FIT調達比率上限値
バイオマス混焼FIT調達比率上限値は80【%】で申請済みです。ただし、今後のバイオマス比率実績の状況によって上限値を変更することがあります。バイオマス比率上限値を変更した場合は、申請が受理されましたら速やかに連絡します。
- ④ 発電機停止計画
ア 2029年10月に21日間程度(土日を含む)の発電機定修を予定。
発電機定修時期及び期間は2028年9月下旬に決定します。

イ ごみピット残量により、2029年12月30日から2030年1月3日(発電機立下げ12月30日午前、発電機立上げ1月5日午後予定)に焼却炉を停止することがあります。

年末年始焼却炉停止及び期間は2028年11月下旬に決定します。

ウ 発電機停止計画の変更には応じません。

⑤ 発動指令時等に発電機出力の調整には応じません。

⑥ 本設備は東京電力パワーグリッド(株)の「下げ調整力不足時の措置」対象設備です。

⑦ 本入札で落札しても2029年度の本契約を約束するものではありません。

落札したアグリゲーターと横須賀市の両方で「2029年度容量市場参加表明 覚書」を締結した後2028年3月に本契約を締結します。

ただし、本契約までの間に横須賀市の方針が変更になり容量市場への参加を取りやめることもあります。

2028年3月の本契約が締結できなかった場合の違約金等の支払いには応じられません。

5 実効性テストアセスメント対象容量【kW】

2027年度に実施される実効性テストに参加する際の実効性テストアセスメント対象容量【kW】は、550【kWh】とする。

6 調整係数の取扱い

2029年度容量市場東京エリアにおいて「調整係数」が適用された場合は、調整係数を考慮した計算とする。

7 最終報酬金額の算定方法

①約定価格【円/kW】 ————— ①

2029年度容量市場メインオークションにおける電力広域的運営推進機関(以下OCCTOと言う。)が公表する約定価格。

②実効性テストアセスメント対象容量【kW】 ————— ②

実効性テストアセスメント対象容量②は、550【kW】とする。

受注者(アグリゲータ)は、550【kW】で2027年度に実施される実効性テストに参加する。

③実効性テスト未達成量【kW】 ————— ③

2027年度に実施される実効性テスト各回(夏季を選択した場合は、再テストを含め夏季2回冬季1回の最大3回。冬季を選択した場合は、再テストを含む冬季2回の最大2回。)終了の翌月に、横須賀市は実効性テスト各回に対応する一般送配電事業者が通知する発電実績データを受注者(アグリゲータ)に提出する。

受注者(アグリゲータ)は横須賀市が提供した発電実績データを基にOCCTOが定める計算方法に従い、全実効性テストの実効性テスト未達成量をその計算根拠とともに2028年3月までに横須賀市に提出する。

横須賀市は受注者(アグリゲータ)が提出した全実効性テスト達成量の中から、任意の1回を選び実効性テスト未達成量③を決定する。

④実効性テスト経済的ペナルティ【円】(不課税:端数切捨て) ————— ④

実効性テスト経済的ペナルティ④=約定価格①×5%×実効性テスト未達成量③

⑤発動指令アセスメント対象容量【kW】 ————— ⑤

ア 発動指令アセスメント対象容量⑤

=実効性テストアセスメント対象容量②-実効性テスト未達成量③

=550【kW】-実効性テスト未達成量③

イ 上記で算出した発動指令アセスメント対象容量⑤【kW】で、2029年度(令和11年度)容量市場参加のための契約を2029年3月に横須賀市と受注者(アグリゲータ)間で締結する。

⑥実効性テスト後の報酬金額【円】 ————— ⑥

実効性テスト後の報酬金額⑥=約定価格①×発動指令アセスメント対象量⑤

⑦発動指令1回ごとの発動指令未達成量【kWh】 ————— ⑦

OCCTOが定める計算方法に従い、発動指令1回ごとの発動指令未達成量⑦を算出する。

⑧発動指令1回ごとの発動指令経済的ペナルティ【円】(端数切捨て) ————— ⑧

発動指令1回ごとの発動指令経済的ペナルティ⑧

=実効性テスト後の報酬金額⑥×110%×(発動指令未達成量⑦/(発動指令アセスメント対象容量⑤×12【回】×3【h/回】))

=⑥×110%×⑦/(⑤×36)

⑨発動指令経済的ペナルティの合計【円】 ————— ⑨

実需給期間中に発生した発動指令経済的ペナルティ⑧の合計。

⑩実需給期間後の報酬金額【円】(税込み。端数切捨て) ————— ⑩

実需給期間後の報酬金額⑩=(実効性テスト後の報酬金額⑥-発動指令経済的ペナルティの合計⑨)×1.1(消費税)-実効性テスト経済的ペナルティ④

※ 消費税法が改正された場合は、その時点での税率を適用する。

⑪最終報酬金額【円】(端数切捨て) ————— ⑪

最終報酬金額⑪=実需給期間後の報酬金額⑩×入札百分率【%】※

※ 本入札における落札入札百分率(小数第2位まで)。

8 支払いについて

① 受注者(アグリゲータ)は最終報酬額を一括で支払うものとする。

② 横須賀市は最終報酬額を2030年(令和12年)5月1日(水)までに納入通知書により受注者(アグリゲータ)に請求し、受注者(アグリゲータ)は2030年(令和12年)5月22日(水)までに納付するものとする。

9 添付資料

横須賀ごみ処理施設直近1年間(2024年4月から2025年3月)の余剰電力量 30分値データ

備考:2024年4月1日～4月3日は、焼却炉トラブルによる発電機停止。

2024年4月7日～4月11日は、焼却炉トラブルによる発電機停止。

2024年10月2日～10月30日は、発電機定修による発電機停止。

2024年11月29日～12月18日は、焼却炉トラブルによる焼却炉1炉運転。

2025年2月6日は、焼却炉トラブルによる焼却炉1炉運転。

以上